

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	調布市総合福祉センター 放課後等デイサービスぴっころ		
○保護者評価実施期間	2025年2月19日 ～ 2025年3月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43 (回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025年2月17日 ～ 2025年3月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療法を通じて、こども一人ひとりの発達特性に応じた、きめ細やかで丁寧な支援を提供している。	音楽療法は複数の音楽療法士が担当し、こどもの意思を尊重しながら特性にあった活動を提供している。	音楽療法士間では支援目標や取組の状況の共有はできているため、今後は職員・介護員との共有をさらに充実させていく。
2	サービスの実施にあたり、こどもの権利を守り、こどもの意思を確認しながら個性を尊重した支援をしている。	こどもには介護員（事業協力者）が一对一で対応しており、手厚い人員配置となっている。絵カード等を使い、こどもの意思を丁寧に確認している。こども一人ひとりにあった玩具で遊ぶ時間を大切にしている。	児童福祉法に基づいた適正な職員配置を継続していく。こどもの権利についての研修を定期的の実施し、職員がこどもの権利を尊重した支援を引き続き提供できるようにしていく。
3	こどもの生活空間が清潔で、活動に合わせた空間となっている。	掃除、片付け、消毒をこまめに行い、清潔な空間を維持している。季節に合わせた掲示を行い、こどもが楽しめるようにしている。本棚やおもちゃ箱、ソファなどをこどもの目線に合わせた配置にしており、わかりやすく片付けやすい工夫をしている。	掃除、片付け、消毒をこまめに行うとともに、必要に応じて空間の構造化を検討する。日常的に点検を行い、安全対策を講じていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの生活空間が夏場は暑くなり、心地よく過ごせる環境になっていない。	ビルの5階にあり窓が大きいこと、フロアごとに温度管理するため個別に調整できないことが要因としてあげられる。	シェードの買い替え、遮光・遮熱フィルムの設置をすすめる。
2	地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	保護者のニーズが低いことや安全の確保ができないことから、実施できていない。	こどもの支援計画上の必要性と人員体制や環境面の安全性を考慮したうえで検討したい。
3	保護者同士の交流の機会、きょうだい同士の交流の機会を設けていない。	保護者やこどもの個別の支援に重点を置いているため、保護者やきょうだい同士の交流については取り組むことができていない。	まずは個別支援のなかで保護者自身やきょうだい児を気にかけていく。そのうえどのようなニーズがあるか把握し事業所のなかで提供できる支援について検討したい。